

水リソースと企業



グローバルウォーター・ジャパン代表
(国連テクニカルアドバイザー)

吉村 和就

▶13

今年3月、中国の環境保護省は「全土で2億8千万人の飲料水に安全上の問題がある」と、環境汚染に関する初めての研究結果を公表している。

中国 信頼できない水道水事情反映

前号で報告したように、先月は蘭州の有毒水道水事件では240万人が被害にあい、武漢市でアンモニア態窒素が、北京市で重金類が基準値を超え検出されている。

え、北京市内の大型スーパーでは多くのボトルが林立している。有名なミネラルウォーター、水河水、アルカリ水、深層海水など及び、その価格差も大きい。一般的なミネラルウォーターは1〜2元、天然水は3〜4元、海外ブランド水(エビアンなど)は7元以上

である。特に水源が有名なミネラルウォーターは高級ミネラルウォーターは、基本的に全て水源

を建設、また05年にはチベットに世界最高海拔(5100m)のミネラルウォーター生産基地を建設している。康師傅は07年に5億元(約82億円)をかけた長白山靖宇県に銀龍泉ミネラルウォーター基地を建設、加多宝は09年青海にミネラル基

地を建設、後発の恒大水泉も長白山靖宇県に天然深層ミネラル水の生産基地を建設している。長白山地帯は「長白山樹海」と呼ばれ、中国の六

大森林地帯の一つであり、当然ミネラルウォーターの埋蔵量は極めて豊富である。長白山東部地域がミネラルウォーター資源の集中地域であり、アルプス山脈、北カフカス地域と並び世界の三大ミネラルウォーター生産地として知られている。

水質が極めて良質で、汲み上げて消費するだけで高価なミネラルウォーターに変身する。

一方集団、聯想集団がコンソーシアムを組み、過去に例のない110億元(約1800億円)を投じ、長白山地域に1千万

沸騰する飲料水ビジネス

のミネラルウォーター工場建設に着手。13年11月、恒大礦泉水集団は同じ長白山地域に100億元(約1636億円)を投資して、3年以内に年

有名な水源地の争奪戦

られている。また販売の方法も富裕層に直送するなど、高い利益を生み出す高級ミネラルウォーター市場は沸騰している。

に激烈な低価格競争と薄利多売にあるが、高級ミネラルウォーターの成長空間は大きく収益率も高いことから、中国の巨大資本家がさらなる水源地

間生産能力1千万本のミネラルウォーター生産拠点を建設し、5年以内に生産量を年2千万本に増やす計画を発表している(第一経済日報)。

当然のことながら、水質保持と有名水源のコピ商品を防ぐために「中国鉱業連合会・ミネラルウォーター専門委員会」は原産地として「中国・長白山靖宇鉱泉城」と命名し厳格な管理を要求している。中国では「上有政策、下有対策」という有名な諺がある。これは「お上が決めた決定事項について、人々が必ず抜け道を考え出す」と解釈され、北京市内では、「中国・長白山靖宇鉱泉城」のニセモノのミネラルウォーター販売が横行している。

世界最大級のミネラルウォーター工場が
続々誕生